

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年3月16日～2019年3月22日の推移】

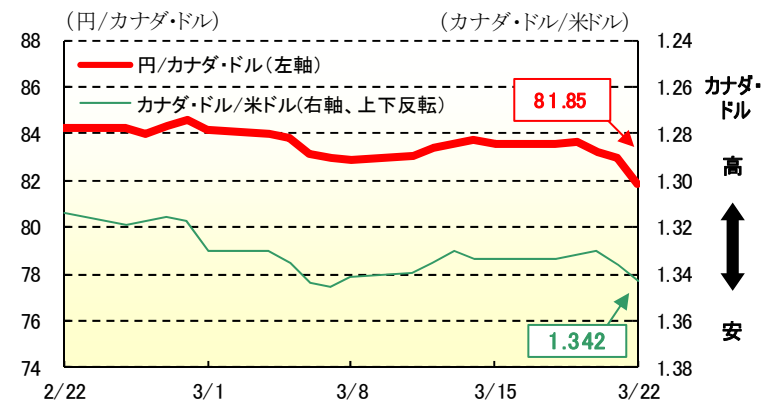
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは、対円および対米ドルで下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

FOMC(米国連邦公開市場委員会)で2019年の利上げ予想回数が引き下げられたことや欧州の低調な経済指標を受け、投資家のリスク回避姿勢が強まったため、カナダの金利は低下し、カナダ・ドルも下落しました。

また、経済指標では小売売上高、CPI(消費者物価指数)が発表されました。小売売上高は前月比で予想外のマイナスとなり、カナダの金利、通貨の上値を抑える要因になりました。CPIに関しては市場予想を若干上回る結果になりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年2月22日～2019年3月22日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

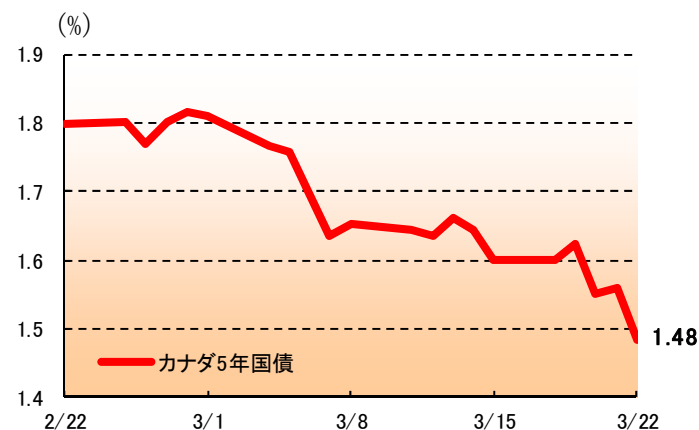
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダではGDP(国内総生産)の発表が予定されています。製造業売上高や卸売上高が好調な結果であったことから、市場予想は前月比で+0.1%と小幅なプラスが見込まれています。米国でもGDPの発表が予定されており、米国の景気減速懸念が市場で強まるなかで、結果に注目が集まります。

足元では、米国国債のイールドカーブ形状が逆イールド(長短金利の逆転現象)となったことや、欧州の低調な経済指標を背景に、世界景気の減速懸念が強まっており、リスクセンチメントが悪化しています。そのため、カナダの通貨、金利は上値が重くなることが予想されます。

【カナダ 金利推移】 (2019年2月22日～2019年3月22日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>